



子どもたちも大喜び

10/28 秋の味覚を収穫  
ながす地域活動が畑の学校を開催

ながす地域活動（増岡美知子会長）は、畑の学校を開催し、秋の味覚の収穫を行いました。これは、子どもたちに栽培や収穫を通じて自然や食の大切さを知ってもらうおうと耕作放棄地を再生した農地を使って、食育活動に取り組んでいるものです。この日は、子どもから大人まで約30人が参加し、2種類のさつまいもを収穫しました。参加した子どもたちは「こんな大きなさつまいもは、はじめて見た。はやく食べてみたい」とうれしそうに話していました。



チームごとにコースを回り、スコアを競いました

10/31 町老人クラブ連合会  
第3回親睦グラウンドゴルフ大会を開催

町老人クラブ連合会（高松一馬会長）は、町総合スポーツセンターで第3回親睦グラウンドゴルフ大会を開催しました。この大会は、町老人クラブ連合会の発足50周年を記念して始まったもので、3度目の開催。ことしは39チーム（244人）が参加し、競技をとおして交流を深めました。高松会長は「皆さんの健康につながればと思って開催しています。また、普段会わない人同士の交流の場にもなっていて、うれしく思います」と話しました。



「学校保健及び学校安全表彰」を受賞した長洲中学校

10/25 防災・防犯の取り組みが評価され  
長洲中学校が文部科学大臣表彰を受賞

長洲中学校（中山直幸校長）は、学校安全の普及と向上に尽力し、多大の成果をあげたとして、文部科学大臣から「学校保健及び学校安全表彰」を受賞しました。長洲中学校は、平成27年から県が指定する実践的安全教育総合支援事業「防災モデル校」となり、PTAと連携した防災キャンプや防犯カメラを活用した不審者侵入避難訓練などの先進的な防災教育・安全教育の取り組みを行ってきました。また、地域と連携した避難訓練にもいち早く取り組み、その成果が学校安全の全国的な水準の向上に貢献すると評価されました。中山校長は、「これまでの取り組みが評価され、大変喜ばしく思います。今後も継続して訓練などを行い、地域の皆さんとともに防災意識を高めていきます」と受賞の喜びを語りました。



多くの来場者でにぎわいました

10/28 九州最大級のキッズハロウィンイベント  
こどもが主役のハロウィンマルシェ

金魚と鯉の郷広場で、こどもが主役のハロウィンマルシェが開催されました。これはハロウィンマルシェ実行委員会による九州最大級のキッズハロウィンイベントで、約15,000人の来場者で会場は大賑わいとなりました。当日は、たくさんのちびっこダンスチームやいちごくらぶによるステージイベント、仮装コンテストや県内外から約130店舗のブース、ボディメイク・傷メイク体験、お化け屋敷などがあり、家族みんなで楽しめるイベントとなりました。



入賞した選手たち

10/14 長洲柔道塾の選手  
玉名郡市代表として7連覇に貢献

菊地市総合体育館で第51回熊本県北地区柔道選手権大会が開催されました。長洲柔道塾からは、8人の選手が玉名郡市代表として出場し、玉名郡市代表選手団の7連覇達成に貢献しました。入賞者およびその他大会結果  
【優勝】小学女子6年 山田莉々子（鷲巣）  
【準優勝】小学男子6年 坂哉 夢大（荒尾市）  
小学男子4年 山田 昊宜（鷲巣）  
小学男子3年 平島 煌靖（梅田）  
【3位】小学男子6年 上田 翔生（荒尾市）  
小学男子3年 平島 悠靖（梅田）



感謝状を受け取る濱田社長（中央）

10/24 子どもたちの通学路を明るく安全に  
（有）アイエスが街路灯2基を町に寄贈

有限会社アイエス（濱田鉄矢取締役社長）は、長洲中学校・腹栄中学校の通学路に街路灯を設置し、町に寄贈しました。これは、子どもたちが安全に通学できるようにと1基ずつ設置されたもので、中逸町長から感謝状が贈呈されました。濱田社長は「学校から帰っている生徒を見て、明るい道を少しでも増やすとご家族も安心だろうと思いい寄贈しました。今後も少しずつ役に立てることをやっていきたいです」と話しました。



町長に結果を報告する町井さん（右から2人目）

10/13-15 全国障害者スポーツ大会で2位と3位を獲得  
町井美代子さんが表敬訪問

町井美代子さん（上沖洲区）は、10月13日から15日にかけて福井県で開催された「第18回全国障害者スポーツ大会福井しあわせ元気大会」に熊本県代表選手として出場し、砲丸投げで2位、ジャベリックスローで3位という素晴らしい成績を収めました。11月13日、町役場を訪れ町長に結果を報告した町井さんは「久しぶりの全国大会でとにかく緊張しました。本当は優勝したかったですけど、次は優勝できるように頑張ります」と感想を話しました。記録は次のとおりです。  
砲丸投げ 4m92cm  
ジャベリックスロー 9m75cm



（左から）表彰式に出席した熊本北部漁協の坂本参事、上田組合長、中逸町長

10/17 有明海干潟再生への取り組みが評価  
水とみどりの愛護賞を受賞

町と熊本北部漁業協同組合、福岡大学が連携して取り組んでいる有明海再生に向けた産学官連携事業が評価され、「第32回肥後の水とみどりの愛護賞」を受賞しました。この賞は、水産資源の保全や緑化推進に取り組む団体や個人に贈られるものです。平成27年度より取り組んでいる有明海再生に向けた産学官連携事業により、干潟のヘドロの減少やあさりの生育数が増加するなどの成果が出ています。そのような中、ことし8月には有明沿岸地域を中心とした「水産振興及び干潟再生協議会」を設立するなど、今後の取り組みにも期待がかかっています。



たくさんの方が訪れました！

11/3▶4

～ながす金魚をPR～  
第23回くまもと物産フェアに参加しました！

グランメッセ熊本で「第23回くまもと物産フェア」が開催され、「ながす金魚」のPRを行いました。

このイベントは県内各地の特産品が一堂に集まる物産フェアで、食品や工芸品など、各地域の文化を身近に感じられるイベントです。

町からは町養魚組合を中心に「ながす金魚」の販売や、金魚すくいを開催し、両日ともたくさんの方たちで賑わいました。来場者は興味深そうに「ながす金魚」を眺めた後、「ながす金魚」を購入していました。



メイプルサウンズの演奏に合わせて歌う子どもたち

11/17

合唱・合奏・演奏で音楽づくり  
六栄小ミュージックデー 初開催

六栄小学校（城祐治校長）は、六栄小学校体育館で、ミュージックデーを初開催しました。

これは、子どもたちに音楽に触れてもらおうと、毎年開催していた学習発表会に代わって初めて開催されたものです。各学年の合唱・合奏や、特別支援学校の卒業生で構成されたバンド「メイプルサウンズ」によるコンサートが行われました。

子どもたちは「合唱ではとてもどきどきした。来年も頑張りたい」、「コンサートでは好きな曲がたくさんあったので、一緒に歌えて楽しかった」などの感想を話しました。



遊具を寄贈した宮本会長（左から4人目）

11/2

～子どもの健全な育成を願って～  
長洲町身体障害者福祉協議会が「遊具」を贈呈

町身体障害者福祉協議会（宮本義直会長）は、三輪車などの遊具を町社会福祉協議会に贈呈しました。

これは、10月28日に開催された「幼児健全育成チャリティー歌謡フェスティバル」の益金から、毎年遊具などを贈呈しているものでことしで、12回目。

寄贈した宮本会長は、「子どもたちが喜ぶような遊具を選びました。今後も続けていきたいです」と話されました。

寄贈された遊具は、町子育て支援センターで利用できます。



名人認定を報告する西林さん（左）

11/5

腹赤区の西林昭子さん  
くまもとふるさと食の名人に認定

西林昭子さん（腹赤区）は町役場を訪れ、県が主催する「くまもとふるさと食の名人」に認定されたことを報告しました。

この食の名人は、地域の食の伝統や食育活動の中心となる人が認定されるものです。西林さんは町地域婦人会の会員として40年以上にわたり郷土料理の伝承活動に取り組み、その活動が認められ、「このしろ丸寿司」の名人として認定されました。



西林さんの作った「このしろ丸寿司」